

風 話 鈴 香

発行所

尼崎市小中島 1・1・18

社会福祉法人

阪神共同福祉会 園田苑

TEL06-6493-3731

発行責任者

理事長 中村 大蔵

私 達 の 目指すもの

- 一、地域に開かれた施設
- 二、入居者、家族、施設、地域のみんなで作る福祉を！
- 三、老人と共に生きがいを見い出す生活を

社会福祉法人 阪神共同福祉会 園田苑

「やっぱり外はええなあ」 久しぶりの花見は快晴～

今年は桜が満開のなか、園田苑のお花見を催すことが出来ました。天気にも恵まれ、入居者・利用者100名を超える参加でした。家族・ボランティア・職員みんなで楽しんだお花見になりました。特養家族会副会長の福井さんからは「毎月第三日曜日の家族会定例会に多くの家族の参加をお願いします」と心強い挨拶を頂きました。「みんなで作る福祉」を目標に一人ひとりができることをする。その積み重ねが日々の生活を豊かにしていくことと信じています。

4月6日に善法寺公園へお花見に行きました。

4月に就職し、初めての行事だったのわからない事も多く戸惑うこともありましたが、楽しい時間を過ごし、良い経験になりました。肌寒い日も多く、公園に行く前は少し不安でしたが到着すると皆さん「暑い」と言われていました。

寺庭さんの「乾杯」の発声のあと、満開の桜を見ながら、皆さんでお花見弁当を食べました。

同じ園田苑でも事業所が違ったり、特養に入居される等でしばらく会う事の無かった利用者さん同士、「久しぶり」と声をかけあう姿もみられました。

食後はボランティアさんに沖縄舞踊や新舞踊などを披露していただきました。盛り上がりつつあると、一緒に踊られるデイサービスの利用者さんもおられました。

新職員の自己紹介では、事前に先輩の職員から「何か出し物を考えておくと良い」とアドバイスを書いたので大きな紙に自分の名前を書いていたのですが、自分1人だけやっていた少し恥ずかしかったです。



しかし、多くの方に名前を覚えて頂けたので良かったと思います。そして、皆さんに名前を呼ばれたことも嬉しかったです。

暑い中、ご参加いただきましたご家族の皆様、踊りを披露していただいたボランティアさんありがとうございました。

今後もいろいろな行事があります。今回の花見が良い経験になったので、この経験を生かして担当になったときにも皆さんに楽しんでいただけたらと思います。

(デイサービスヘルパー 北野 暁士)



昨年の台風で桜の枝は少なくなりましたがいつもの場所で記念撮影。花見できて良かった！！

グループハウス尼崎では、4月5日に市役所横の橋（たちばな）公園へお花見に行きました。グループハウス尼崎の入居者11名と職員5名、ボランティア2名が参加しました。当日天気は良かったのですが、少し風もきつく、肌寒さも感じられる日となりました。

今年の桜は遅咲きで、まだまだこれからの様子でしたが、十分お花見として楽しめるものでした。皆で乾杯し、職員手作りのいなり寿司やごちそうを満喫しました。

春休み中の子ども食堂の子どもたちやお昼休み中の尼崎市長も参加して下さいました。理事長、施設長も交えて賑やかなお花見となりました。

今年も皆さんで楽しめる事をどんどんしていきたいと思っています。

(グループハウス尼崎)

お年寄りの自由気ままに

理事長 中村大蔵

大型連休もあと二日で終わろうとする、5日の早朝4時過ぎ、フロアのソファで老女が仲良く寄り添って眠っている。

光本貞淑さん（97）と中川妙子さん（95）のお二人である。あまりにも微笑ましくも可愛いので、しばらく見惚（みと）れていた。

光本さんはソファのほぼ常連であるが、中川さんは珍しい。お二人には職員がそとと毛布を掛けていた。

お二人は5時過ぎに起きて来られ、それぞれご自分の部屋に戻られた。

園田苑がオープンしてまだ間もない頃、ヘルパー室の明かりが見える長椅子で、故中村好基さんがよく寝ていた。

ヘルパーが何回もベッドに誘うも、頑として離れようとしなかった。

しびれを切らしたヘルパーが何とかしてくれとやって来た。ここは施設長のメンツにかけても、おっとり刀で駆けつけ、「ベッドに行ってくださいませんか」と言うや、いきなり「うるさい！」と、顔面にパンチをくらった。

それもそうだろう、夜勤のヘルパーから何回も言われ、いいかげんうんざりしていたところに、また「命令」である。

致し方なく私は布団をベッドから運んで中村さんに掛けた。中村さんは朝までやすやすと眠っていた。

以来、（嫌がる）人を移動してもらうより、寝具を移動させた方が合理的であることを学んだ。わかったことは、「眠たくなったら、それが就寝時（どき）、横になった所が眠る場所」である。そして、「老人の嫌がることはするな」というケアの大原則である。



お花見に多数のご参加ありがとうございました！



青空喫茶、私の体験記

10連休最終日の5月6日。晴天の下、青空喫茶が開催されました。

4月に入職して、野外での催しは「お花見会」に続き2回目ですが、地域の方々も参加される「喫茶」として、どのような形態となるのか興味がありました。

園田苑の玄関前のアプローチに机と椅子を並べテーブルクロスを敷き、喫茶としての体裁が整いました。金券売り場や調理場や注文・配膳係も設置され、施設利用者だけではなく施設入所者のご家族も参加されての賑やかな憩いの場が出来ていました。

私が一番驚いたのは、喫茶で提供されるデザートの大半がボランティアの手作りであるということです。施設の催しは、ボランティアの協力を仰ぐことが多く、多くの施設は職員主導で“お手伝い”の範囲で動くことが多いように感じます。

園田苑ではまさに協同での開催であり、調理部門をお任せして、職員はそれぞれの持ち場での担当をしていました。これは園田苑の特色なのかと大変感心しました。



長年の地域住民との交流がこの関係を産んだのかと感銘を受けました。手作りデザートは大変好評で、ご家族の中には何度もリピート注文されている方もおられました。

反省点としては、散歩されている地域の方も興味深そうに見て通られていましたが、なかなか中に入って来られず、声掛けをした子供連れのご家族がやっと入って来られました。地域に開かれた施設であるにはもう少し分かり易い広報の工夫が必要ではないかと思いました。

園田苑の多職種の職員が関わっての開催であり、私のように新採用者や他部署の人間には、施設利用者や入所者など顔も名前も分からない方が多く、不安もありました。指示されて利用者の接客をしていましたが、注文を調理場から揃えるのは顔を知らなくても出来るので、接客は顔を知っている職員が担当した方が、会話が弾み楽しんでいただけたと思います。

尼崎市「園田南」地域包括支援センター
社会福祉士 田中 亜古



園田苑のホームページ
頑張って更新していきます！
行事の予定・報告など
求人情報あります
園田苑 検索

法人理念
阪神共同福祉会は
すべての人の命を大切に
地域福祉の担い手となる

園田苑 特養
家族会交流会のお知らせ
毎月第3日曜日 14時～
6月は『車いすの清掃』



会員の皆様のご参加をお待ちしています！
家族会 役員一同

編集後記

冬には風邪をひかずに済んだのに、この時期になってひいてしまいました。なにごとも油断大敵。改めてそう思いました。
(きりん)

歳をとっていくと、新元号等気になってくるが、うちの子供（高校3年生）はどこ吹く風。若い頃ってこんなものだったかな。
(だるま大使)

心動くものに色々チャレンジしたいものだが、身体が一つのもどかしさ…
(ものぐさガエル)

今回は新しく園田苑に仲間入りした職員に原稿をお願いしました。締め切りまで2日しかない無茶ぶりにも対応していただきました。
なんとか年4回は発行したい。頑張ります。
(きんたろう)